

DTSL-101 YANMA



○10cm フルレンジ・スピーカーユニット OM-OF101 を使ったスピーカー

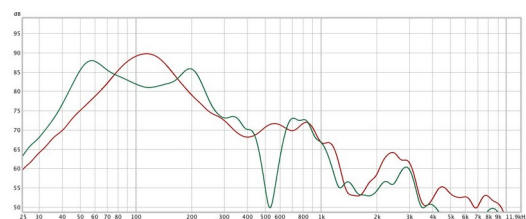
毎年恒例となっているスピーカーユニット付録の本、今年はなんと”あの”オンキヨー製で、特殊な形状の振動板を採用したとのことで面白そうと思い購入しました。

作ったのは2つのユニットを使用する共鳴管方式です。コンセプトはざっくり、[ワイドレンジで感じの強い音] [作りやすく使いやすい] というところ。10cm のフルレンジで手軽に迫力のある音が出たくて、とりあえず自作で有名なスーパースワンは超えたいなーという思いがありました。

ちなみに、せっかくだし SP 作ったら某誌スピーカーコンテストに応募しようかと意気込んでいたのですが、製作途中でレギュレーション違反が発覚し応募できませんでした。うーん残念。

○2つの共鳴管による低域増幅

箱の中には2つの管が入っており、1ユニットで1つの管を上下で分けて駆動してます。管が2つの理由は管共鳴が奇数倍に増幅するため、増幅できていない基音～3倍音の間を埋めるためです。



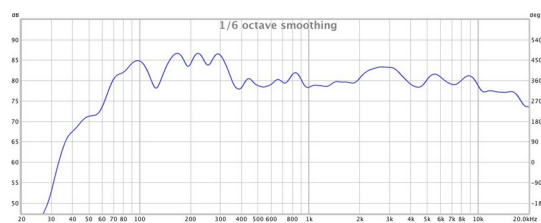
↑上下開口部の周波数特性



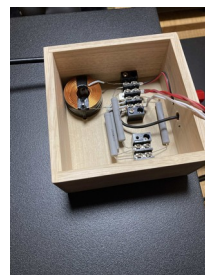
← 内部

○バッフルステップ補正回路

外付けです。壁に近いセッティングだったり中高域が張り出す音が好きな方は外した方がいいかもしれません。お好みでどうぞ。



↑バッフルステップ補正回路ありの軸上1m 周波数特性



○省スペースで設置しやすく

高さはありますが、設置面積は小さくして重くならないようにしてます。その分箱鳴りが大きいですが、バッフルや側板に厚みをつけたり内部デッドスペースを埋めたりすることである程度は調整できます。



← スーパースワンと並べて置いてみた